



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：野沢 達也 幹事：鈴木 雄大 発行：会報・広報委員会

第 3303 例会 (40号) 2023 年6月1日(木) 曇

親睦活動委員会担当卓話 SPEECH



生涯スポーツであるゴルフ

荒川ゴルフ所属 大和田 孝 幸 プロ

簡単な自己紹介をさせていただきます。
 JPGA インストラクター a-B級のティーチングプロをつとめておりますが、2年前に荒川ゴルフさんからお声をかけていただいてスクールを見てもらえないかということで、2年前に荒川ゴルフさんに就職しました。現在はティーチングプロとしてレッスンをやっているんですけども、まずティーチングプロというものは、一般的にプロゴルファーとして皆さんが想像している、いわゆるテレビに出て試合に出て賞金を稼いでいる、そういうのがプロゴルファーであると思うんですが、ティーチングプロはレッスンプロですね。レッスンをして生計を立てているプロなんですけども、簡単に数字でご説明しますと、今プロゴルファーと呼ばれる人は日本プロゴルフ協会所属の人数としては大体5,400人くらいいるんですね。その人数が多いか少ないかは別として、その5,400人のプロの中で試合に出れるツアープロというのは大体2,000人くらい。残りの2,500人くらいがティーチングプロであるという形で活動しております。女子の方はツアー資格を持っているプロが730人くらい、女子のティーチングプロが130人くらいと男子に比べれば大分規模が小さいんですが、その様に活動しております。ティーチングプロというのはレッスンプロ専門なんですが、私も初めはツアーに出たくてですね、小名浜カントリーでツアーを目指して研修生としてやっておりました。で、なんでプロになりたいかといいますと、一番最初は調理師としてゴルフ場に入ったんですね。で、調理師として入って、僕が入った頃はゴルフ場はすごい暇だったんで、予約がゼロの日もありました。今では考えられないと思うんですけども、そういう時にはほとんどやることもなく、ゴルフの練習とかも自由にできましたんで、そういう風に多少ゴルフに慣れていったら、割とうまくいったというところで、そこにツアープロが移籍してきたんですね。で、そのツアープロを見て、こういう職業がいいなということでプロゴルファーに憧れまして、プロを目指してやるようになりました。そして22、3歳で調理師を辞めてゴルファーを目指したんですけども、24、5歳からプロテストをやるようになりまして、ツアーを目指してやったんですけど、なかなかツアーに出るためには厳しくてかなりの狭き門ということでしたので、そこは30歳くらいで断念しまして、そこからレッスンで食べていこうという事で、ティーチングの資格を取って現在にいたるという形になります。

日本のゴルフ事情というか状況についてなんですけども、現在の日本のゴルファーの人口がどのくらいいるかといいます

と、日本の人口の約5%くらいがゴルファーではないかと雑誌などには載っていますが、5%というのと大体600万人くらいですね。日本のゴルファーは600万人くらいという中で、年別別に見てみますと、600万人のうち約半数近くが60代以上で、ある程度年齢を重ねた方が半分以上を占めているという現状になります。ただそうは言っても、最近練習場なんかで見ますと、若い方がゴルフの練習に来ているんですね。ですから若者にも結構浸透してきているかなという風には見えています。特にコロナになってからですね、コロナバブルという言葉もあるくらいゴルフ業界にとってはプレイヤーが増えてきているんですね。実際練習場なんかもコロナになってから密を避けて外で活動ができるという事で、ゴルフに新たに興味を持って始める方もかなり増えています。で現在の600万人が少しでも増えてくれればいいかなあと、ゴルフに関わる者としては思っています。

日本にゴルフコースがどのくらいあるかということで実際にコースの数を調べてみましたところ、およそ2,140コースくらいあるということです。県別にみると最も多いのが北海道ですね。北海道は169コースありまして日本で最も多いです。我が福島県はといいますと55コースで全国から見ればこれは多い方なんですけども、上から見ると13位となっているようなんです。ちなみに2、3、4、5位は兵庫、千葉、栃木、茨城となっています。ゴルフの運営会社別に見ていくとアコーディア・ネクストが大体170コースのゴルフ場を運営しており、その年間の利用者人口はおおよそ1,200万人になっています。また、PGMが147コースのゴルフ場があり、こちらは年間の利用者人口が890万人でこれは前年比で102.2%と増加しています。また顧客単価も104.8%と増えています。やはり最近のゴルフ人気が現れているのではないかと思います。太平洋クラブは18コースあるようです。2022年の福島県の入場者数は837,197人で前年比で100.6%と若干多くなっています。また2022年の福島県で一番入場者数が多かったコースが74,415人でした。また今年になってからはどうなのかと言うものを見てみますと、2023年の傾向としまして、4月時点での前年比を見てみますと、112.8%と大幅な上昇が見られますので、ゴルフの人気もこのまま高まってくれればいいななんて思います。そして改めてゴルフの魅力という部分はどのようなどころにあるのかということをお考えすると、やはり自然の中でやるスポーツであるということではないかと思えます。そして年齢を重ねても続けられるスポーツであるということです。健康やリフレッシュになりますし、またある時は友人や家族、またはビジネスパートナーとコミュニケーションをとるよい機会となることが多いように思えます。私自身もゴルフのおかげでいろいろな出会いがあったとそう思います。

最後に荒川ゴルフのレッスンについてスライドをお見せしながら説明をしていきたいと思えます。ゴルフの基本であるグリップ、アドレス、スイングを覚えてフォームの重要性を認識



2022~2023年度国際ロータリーのテーマ

「イマジニ ロータリー」

IMAGINE ROTARY

